

浜松医科大学小児科ホームページ掲載予定オプトアウト文章

浜松医科大学小児科学教室小児循環器科で現在行われている疫学研究

疫学研究とは、人の病気の原因・病態の解明、および診断、予防・治療の方法の確立を目的とする研究です。浜松医科大学小児科では、過去の診療記録より得られた情報を利用して、現在まで行われた小児疾患の診断・治療の評価を行い、そしてより良い診断・治療法を確立し患者さんに還元できるように、下記の疫学研究を行っています。下記の疫学研究は、浜松医科大学・医の倫理委員会の承認を得た後、研究責任者の管轄のもとに、行われます。当院にすでに記録されている臨床情報をもとに行われるため、対象となる患者さんにあらたにご負担をおかけすることはありません。また、この研究の結果は専門の学会や学術雑誌に発表されることがありますが、対象者のプライバシーは十分に尊重され、個人に関する情報(氏名など)が外部に公表されることは一切ありません。

もし、下記の疫学研究にご自身の臨床情報を使用されることに同意されない方は、下記メールアドレスにご連絡くだされば、解析対象から除外させていただきます。同意されない場合でも、診療上であなたが不利益を被ることは一切ありません。また下記研究 に関して、ご不明の点がございましたら、いつでもメールアドレスにお問い合わせください。

当院小児循環器科の研究全体に関する問い合わせ先：

浜松医科大学小児科教室小児循環器

メールアドレス：iwashima@hama-med.ac.jp

1. 研究課題名：先天性心疾患に関連する弁膜症の評価について

承認番号 第一号

対象 2002年7月から2015年9月までに浜松医科大学附属病院小児科にて先天性心疾患（心室中隔欠損症、心房中隔欠損症、房室中隔欠損症、心内膜床欠損症、単心室症、複雑型心疾患等）に関連した弁膜症（大動脈弁逸脱症、大動脈弁閉鎖不全症、大動脈弁狭窄症、僧房弁狭窄症、僧房弁閉鎖不全症、肺動脈弁狭窄症、肺動脈弁閉鎖不全症、三尖弁狭窄症、三尖弁閉鎖不全症）と診断された症例。

承認日 平成 年 月 日

研究期間 平成27年10月1日～平成32年9月30日

研究責任者 岩島覚